

○事業所名	こもれび園		
○保護者評価実施期間	2024/09/23		~ 2024/10/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024/09/23		~ 2024/10/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024/12/13		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみながら、様々な経験ができること。	制作や季節ごとのイベントなど、楽しみながら経験を重ねていけるように支援しています。また長期休みの時には電車に乗る、地域のプールに行くなど、年齢に合わせた様々な経験ができるようにプログラムを考えています。	平日の短い時間の中でも、地域の路線バスに乗ったりおやつ作りをしたりするなど新しい取り組みをしていきたいと考えています。
2	自己選択ができる場面があること。	プログラムの中で、好きなおやつを選ぶことや制作の時に好きな色や材料を選ぶなど自己選択ができる場面を意識的に作っています。	今後はプログラムの中で、活動を自分で決められるような機会を作っていきたいと考えています。
3	施設内が広く、園庭もあるため活動しやすい環境が整っているところ。	フリータイムの時には、身体を動かして遊ぶ部屋と静かに座って遊ぶ部屋に分けて子どもたちが自分の好きなことを思いっきりできるように工夫しています。園庭に畑を作って外での作業などもできるようにしています。また、子どもたちが一人になりたい時に使える部屋も用意しています。	プログラムの中で、園庭を使った活動を考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や他の放課後等デイサービスとの関わりが少ないこと。	感染症等の影響もあり、地域や他の事業所との関わりが薄くなっていると考えられます。	地域の方や他事業所と積極的に関わり、交流できる機会を作れるように努めます。また交流できるような場面があった時には、積極的に参加、交流していきます。
2	年齢の幅が広く、年齢に合わせた活動になっていないところ。	小学4年生～高校2年生までの子どもたちが通っているため、小学生に合わせて高校生が物足りない活動になってしまい、逆に高校生合わせると小学生の子どもたちにとって難しい活動になってしまうと考えられます。	プログラムの中で全員でやるものと年齢で活動を分けるものを組み合わせるように工夫します。また、同じ活動の中でも難易度を変えるなどしていきます。
3	園庭の環境整備ができていない、園庭を十分に使えていないところ。	草取りや落ち葉拾いなどが季節によって、日々の業務を行いながらのため手が回っていない状態の時があると考えられます。	環境整備しやすいように園庭を整えていきます。また、日々の業務の中に組み込みこまめに手入れをできるように努めます。